

平成 31 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

外国語（日本語）

（100 点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 課題文 1 を読んで、以下の問いに解答しなさい。

1. 傍線部①「子供たちを権力の磁場に取り込むことで教育が成立している」とは、
どういうことか。筆者の見解を 40 字以内で要約しなさい。
2. 傍線部②「個々の家庭に向けられる教育的まなざしは、社会のノイズを消去して
空間を均質化しようとする」とは、どういうことか。筆者の見解を 40 字以内で
要約しなさい。
3. 傍線部③「過剰な権力性を帯びないようにしながら、教育するという権力をいか
に組織化するか、という限界を、意識的に設定する必要がある」とあるが、具体
的にはどのようなことが考えられるか。100 字以内で自由に述べなさい。

問題 2 課題文 2 を読んで、以下の問いに解答しなさい。

1. 著者は、プレッシャーはどのようなときに感じると考えているか？その考えを文
中の言葉を使って 50 字以内で答えよ。
2. 著者にとって、新人のころと現在とでは、プレッシャーの感じ方がどのように変
わってきているか？また、それに対してどうするべきかと思っているか？著者の考
えを 80 字以内でまとめよ。
3. 著者は、プレッシャーを克服するには何が大切と考えているか？また、その理由
は何か？著者の考えを 80 字以内でまとめよ。
4. あなたは、どのような状況下でプレッシャーを感じ、それに対してどのように対
処してきたか？自分自身の体験を 200 字以内でまとめよ。

課題文 1

広田照幸『教育には何が必要なのか』二〇〇三年、春秋社、一二〜一六頁（一部改変）。

羽生善治『決断力』（角川書店、二〇〇五）より。